

情報公開文書

西暦 2025年 4月 30日作成

項目		
試料・情報の 利用目的及 び利用方法	研究課題名	術前における薬剤師の薬学的介入についての評価
	研究対象者	2024年10月～2025年3月にかけて、当院中央手術室にて全身手術を行った患者1965人を対象。
	研究目的	済生会横浜市南部病院（以下、当院）では、より安全かつ効果的な周術期管理を行うために、2023年3月より手術室に専任の薬剤師を配置し、同年4月より周術期薬剤管理加算の算定を開始した。薬剤師は常用薬の確認、術前休止薬、継続薬の指示・実施確認ならびに薬剤による副作用・アレルギー歴の確認などを行っている。本研究では、より質の高い周術期医療が行われるよう、当院での術前における薬学的介入内容について調査します。
	研究方法	電子カルテから診療情報を抽出し、調査します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	結果通知書交付日 ～ 西暦 2026年 3月 31日
利用する試料・情報の項目（チェック[X]のある項目を利用します）	[]情報：	[]診断名（臨床病期や分類、病理診断を含む）、[X]年齢、[]生年月日、[]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[X]その他（具体的に記載：服用薬）
試料・情報を利用する者の範囲	当院研究責任者	済生会横浜市南部病院 薬剤部 加藤一郎
	共同研究者	海野祥生、加藤一郎
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		済生会横浜市南部病院 連絡先 045-832-1111 利用停止のお申し出は研究終了日までにはお願いします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります。